

- 活用内容: 近隣住民説明会や関係自治体、工事区域に関係する機関等への事業内容および工事内容の説明・協議の際に、BIM/CIMモデルを活用する。
- 活用事例: 合志川平島堰改築(1期)工事
- 可動堰工事場所の立地条件および構造物の完成イメージをARを用いて説明した。
- 工事場所の立地状況を3次元モデル化し、さらに構造物の完成イメージを、拡張現実(AR)技術を用いて、説明した。
- 近隣住民や関係者に事業概要を分かりやすく説明でき、関係者の理解促進や合意形成の迅速化につながった。



工事場所の3次元モデル



拡張現実(AR)の利用